

◆義士銘々伝二 書き下し文

【瑤泉院】

後室瑤泉院

浅野因幡守の息女にして頗る賢女の聞えあり、内匠頭吉良氏と事あるの日登城せんとするときに、奥方その辞色の常に異成を見て心には是を察し、侯を戸の内に送りて曰く、今日君無事にして家に帰りて、妾を見ることあらば幸ひならんと、此日果して事起りしといふ、

【大石主税良金】

大石主税良金

良金ハ良雄の嫡男なり、十五才の時義士等と俱に関東に起き、翌年十六才にて討入の夜搦手の首長として手痛き働きをなし本懐を遂ぐ、若年の鑑といふべし、

辞世 極楽の道ハ一筋君とともに 阿弥陀をそえて四十八人
刃上樹劍信士 行年十六才

※起：赴の誤記。

【潮田又之丞高教】

潮田又之丞高教

高教ハ剣術に達し、手裏剣に妙を得たる忠勇の士たり、
辞世 ものゝふの道とばかりをひとすじに おもひたちぬる死出の
たびちに

刃窓空劍信士

【勝田新左衛門武堯】

勝田新右衛門武堯

武堯ハ赤穂譜代の臣なり、強勇の者なりければ、討入の時も目覚し
き働をなし、同盟の義士等とともに誉を顕しけり、
刃量霞劍信士

【吉田沢右衛門兼貞】

吉田沢右衛門兼貞

※吉田忠右衛門の実子なり、父とともに忠義の志厚く、流浪して麴
町に住し田口左平太と変名せり、父に孝を尽し朝夕心をつけて労
りつかへり、誠に忠孝備ハリし義士なり、

刃當掛劍信士

※吉田忠右衛門：忠左右衛門の誤記。

【矢頭右衛門七教兼】

矢頭右衛門七教兼

辞世 雪の翌日爰ぞ命の捨どころ 秀峯

刃擲振劍信士

【萱野三平重実】

茅野三平常世

常世ハ赤穂離散の後故さとへ赴ける、父ハ老年に及び、心細さ
に關東へハ弟和介を遣すべしと常世を無理に止めけるゆへ、父の
言葉にそむく時ハ孝道を失ひ、盟約の義士等に背く時ハ忠義を欠く、
君恩を報ハさるハ道にあらずと、忠孝の両道に迫り、事の始末を
大石へ書置なし腹搔切て死たりけり、あつはれ誠忠の義士といふべ
し、

【間瀬久太夫正明】

間瀬久太夫正明

正明ハ赤城退散※あかほたいさんの後浪花のちなにハに住し、屢山科の大石しばしばやましな おほいしの居宅きよたくに集會しうくわいす、或夜家あるよいへにかへらんとせしに、一疋の大蛙いつひき おほかはずあまた数多の蛙と挑いとミあふ、終ついに大勢たいぜいの蛙ための為ために大蛙を喰殺くひころしけれハ、正明十矢一矢じうしゅういっしのたとへをおもひ出し、大石に語り義士等ぎしらを急ぎ関東くわんとうへ下しけるとなん、

刃誉道劍信士

※赤城：赤穂の誤記

【奥田貞右衛門行高】

奥田定右衛門行高

辞世 うち落す扇をとのさへや寒椿かんつばき 行高

刃湫緋劍信士

【三村次郎左衛門包常】

三村次良右衛門包常

包常そのみせうろくハ其身小禄こやくにんの小役人こやくにんなりけれバ、赤穂退去あかほたいきよの後のちハ大石おほいしに随したかひ若党わかたうの如ごとくなれり、しかれども、志こころざしシハ金鉄きんてつのごとき誠忠せいちうの士しなり、

刃珊瑚劍信士

【村松喜兵衛秀直】

村松喜兵衛秀直

辞世 命いのちにもかへぬひとつハ失なげハジ 逃にげかくれてもいかでのがれん

刃有梅劍信士

【杉野十平次次房】

すぎのぢうへいじはるふさ
杉野重平次治房

治房ハ鎗術の達人にて、京師に在りても師範をなせり、実に豪傑の一人たり、

刃可仁劍信士

【横川勘平宗利】

よこがわかんへいむねとし
横川勘平宗利

辞世　まてしバし死出に遅速ハあらずとも　我先だちて道しるべせん
ん

※戒名の記載無し

【小野寺幸右衛門秀富】

をのでらはんゑもんひでとみ
小野寺半右衛門秀富

秀富ハ十内秀和の養子也、武術に通暁したる勇壯の士たり、

刃風颯劍信士

【近松勘六行重】

ちかまつかんろくゆきしげ
近松勘六行重

行重ハ赤穂譜代の忠臣にて、武術に秀たる猛勇の士なり、

刃随露劍信士

【茅野和助常成】

かやのわすけつねなり
茅野和助常成

常成ハ弓術を克す、また俳諧を好て如柳といふ、討入の時弓に付たる短冊に　魂や風にはなるゝ　風　如柳

(辞世) 天地の外ハあらしな千くさだに　のと咲野辺に枯るとおも

へば

刃響機劍信士

【岡嶋八十右衛門常樹】

岡嶋八十右衛門常樹

常樹ハ赤穂退去の後浪花に仮住す、腰の痛ニ苦ミ有馬の温泉にいたりける途中、山賊五人に出あひければ、悉く打倒し並木の松にくゝりしとぞ、其強勇此一事にてはかりしるべし、

刃袖払劍信士

【早水藤左衛門満堯】

早見藤左衛門満堯

満堯ハ関東定府の臣なり、主家凶変起りて本国へ注進容易ならず、満堯早走りに妙を得たりしかバ、関東より播州赤穂まで百七十余里を三日半に馳付、第一番に注進せしとぞ、聞人おどろきけるとな

刃破了劍信士

【吉田忠左衛門兼亮】

吉田忠右衛門兼亮

兼亮ハ軍学の師範をなせり、討入の節も搦手の大将たり、文武兼備の士なり、

刃仲光劍信士